

## 第4章 次年度に向けて

4. 1 学生・教職員に対する地震防災訓練アンケートの結果
4. 2 地震防災訓練後の反省会での意見
4. 3 改正消防法に基づく消防計画に関する調査検討委員会からの意見
4. 4 新都心の地域減災セミナー参加者からの意見
4. 5 新宿駅周辺防災対策協議会からの意見



## 第4章 次年度の地震防災訓練に向けて

### 4.1 学生・教職員に対する総合防災訓練アンケートの結果

新宿校舎総合防災訓練の終了後、訓練に参加した学生・教職員を対象に防災意識と本年度の総合防災訓練に関するアンケート調査を実施した。アンケートでは521名から回答が得られた。



図4-1 訓練後のアンケートの様子（1階アトリウム）

(1) あなた自身についてお答えください

1. 大震災が発生した場合、交通麻痺、周辺状況の混乱などで帰宅することが大変困難が考えられています。新宿校舎への通勤・通学手段は何ですか？（複数回答可）

①電車	503名
②バイク	15名
③バス	35名
④自転車	96名
⑤徒歩	105名
⑥その他（ ）	4名
未回答	0名

2. 通勤・通学にかかる時間はどれくらいですか？

①30分以内	68名
②1時間以内	227名
③1.5時間以内	156名
④2時間以内	59名
⑤2時間以上	9名
未回答	0名

(2) 地震災害の経験や、地震災害に対する備えなどについてお尋ねします。

1. あなたやあなたの家族はどのような地震防災対策を行っていますか？（複数回答可）

①地震に強い家（下宿等）に住む	74名
②家具の転倒防止対策	152名
③飲料水・食料等の非常持出品の準備	118名
④地域防災訓練への参加	19名
⑤家族間の非常時連絡ルール（緊急連絡先）がある	44名
⑥特に何もしていない	212名
⑦その他（具体的に：_____）	12名
未回答	10名

その他の回答

- ・家具の配置
- ・上級救命士講習修了証習得済み
- ・在宅時の避難場所の確認、職場で被災した際の備え

2. 今回の訓練以外に、震災時に役立つ訓練を体験・経験したことがありますか？

（複数回答可）

①避難訓練	390名
②心肺蘇生（AED）	273名
③応急救護（骨折・止血）	162名
④初期消火（消火器）訓練	137名
⑤炊き出し訓練（非常食の調理）	41名
⑥煙体験	180名
⑦起震車	133名
⑧ロープ訓練	21名
⑨避難所開設訓練	9名
⑩171・Web171体験	6名
⑪緊急地震速報・エリアメール受信体験	27名
⑫何も体験したことがない	39名
⑬その他（具体的に：_____）	3名
未回答	7名

その他の回答

- ・5階の高さからの滑り台

3. 震災時に新宿校舎にいた場合、あなたはどのように行動すると思いますか？

①家族の安否確認などのため、徒歩でも帰宅すると思う	136名
②状況が明らかになるまで、しばらく大学に滞在すると思う	351名
③その他（具体的に：_____）	23名
未回答	8名

### その他の回答

- ・周りの状況を確認し、人の救助か一時帰宅
- ・人との接触を避ける

#### 4. 震度6弱以上の地震を実際に経験したことがありますか？

①ある (→4-1、4-2 へお進みください)	20名
②ない	492名
未回答	6名

##### 4-1 震災時、あなたの身の回りでは何が起きていましたか？（下記の回答欄に記入）

- ・棚から本が落ちた。
- ・近くの家屋根瓦が落ちた。学校の窓が割れた
- ・家の塀にひびが入った。
- ・食器が落ちてきた。

##### 4-2 震災の経験から、事前の防災対策として何が必要だと思いますか？

- ・家具の転倒防止
- ・避難場所の確保
- ・非常食の確保
- ・住宅の耐震化

#### 5. 震災時などに家族や友人に安否を伝える手段として NTT や携帯会社などが提供するものがあります。過去の災害時に利用したことがあるものを選んでください。（複数回答可）

①災害伝言板	13名
②災害伝言ダイヤル (171)	10名
③Web171	2名
④使ったことはない	485名
⑤その他（具体的に：_____）	0名
未回答	13名

#### 6. 震災など災害に対して常に備えているもの・携帯しているものはありますか？

（複数回答可）

①飲料水・食料	118名
②ペンライト・懐中電灯	98名
③ラジオ・デジタルラジオ・ワンセグ機能付き携帯など	246名
④帰宅支援マップ	11名
⑤歩きやすい靴（今履いている、または持っているでも可）	246名
⑥その他（具体的に：_____）	23名
未回答	75名

### その他の回答

- ・生理用品、衣類、財布

7. 震災後、大学内で数日過ごすことになった場合、何が必要になると思いますか？なお、女性の方は女性特有のものでも構いません。

多数意見

水、食料、衣類、個人のスペース、トイレ、ティッシュ、タオル、防寒具(毛布や布団)、救護用品、ラジオ、生理用品、娯楽用品(トランプやゲーム機など)、発電機、情報入手のための端末、コンタクトの保存液

8. 地震時には身の回り(自宅、研究室、教室)のこういったものが危険だと思いますか？

<自宅>

テレビ等電化製品、窓ガラス、固定されていない本棚や食器棚、ガス

<研究室>

パソコン、大型の実験装置、薬品、本棚、プリンター

<教室>

天井に備え付けのモニター、蛍光灯、窓ガラス、プロジェクター、パニックになった人、固定されていない机とイス

- (3) 緊急地震速報とその利活用についてお尋ねします。

1. 緊急地震速報を知っていますか？(いずれか一つに○)

①知っている	240名
②聞いたことがある	177名
③知らない	86名
未回答	15名

1で「①知っている」または「②聞いたことがある」を選んだ方にお聞きします。

- 1-1 緊急地震速報とはどのような情報ですか？(いずれか一つに○)

①地震が起きる前に、地震の発生を予知して知らせる情報	66名
②地震の初期微動を感知し、 大きな揺れが来ることを直前に知らせる情報	287名
③実際に観測した各地の揺れの 強さ(震度)を速やかに知らせる情報	41名
④地震による各地の被害状況を速やかに知らせる情報	9名
⑤その他(具体的に: )	3名

2. 今回の防災訓練で緊急地震速報を利用した館内アナウンスが聞こえました？

①よく聞こえた	238名
②少し聞こえた	133名
③内容は分からないが聞こえた	91名
④聞こえなかった	42名
未回答	12名

3. 今回の防災訓練で緊急地震速報を利用した館内アナウンスが聞いたとき、あなたは直後にどんな行動をとりましたか？（複数回答可）

①頭を保護し、机の下に隠れた（自分の身の安全を確保）	129名
②周囲の人に声をかけ、 怪我をしそうな場所からの回避や身の安全を確保するように促した	36名
③急いで非常階段から避難した	23名
④何もしなかった	290名
⑤その他（具体的に：                    ）	42名
未回答	42名

**その他の回答**

- ・先生の指示に従った
- ・エレベーターに乗ろうとしたがやめた
- ・逃げ道の確保をした
- ・カバンなど重要なものを持った

4. 強い揺れがおさまったあと、あなたは最初にどんな行動をとると思いますか？

①周囲の人に声をかけ合い、助け合う	231名
②急いで非常階段から避難し、建物の外に出る	126名
③茫然自失となり、指示がないとしばらくは何もできない	64名
④その他（具体的に：                    ）	76名
未回答	21名

**その他の回答**

- ・家族に電話
- ・周りの状況の確認(火災や負傷者の確認)
- ・出口の確認
- ・自分の体の状況を確認

5. 今回の防災訓練以外で、緊急地震速報を実際に聞いたことや見たことがありますか？

①ある	77名
②ない	419名
未回答	22名

5で「①ある」を選んだ方にお聞きします。

5-1 緊急地震速報を聞いたとき、どこにいましたか？

- ・自宅
- ・外出先(旅行先)
- ・八王子の松風舎
- ・公園
- ・学校

5-2 その時、あなたがいた場所はどの程度で揺れましたか？（いずれか一つに○）

①震度（ ）	10名
②わからないが揺れた	51名
③揺れもあまり感じなかった	3名

5-3 緊急地震速報を聞いたとき、どのような行動をしましたか？

- ・何もしなかった
- ・誤報だった
- ・机の下へ隠れた
- ・テレビをつけて確認した
- ・物が倒れてこなそうな場所に移動した
- ・急なことに驚き何も出来なかった
- ・公園の中心に移動した

5-4 緊急地震速報の後、あなたの周囲から何らかの指示はありましたか？

①あった	10名
②なかった	51名
③自分から指示をした	3名
④指示が無いので自分で行動した	15名

6. 地震発生した直後、緊急地震速報以外にどんな情報が知りたいですか？

- ・家族の安否
- ・各交通機関の状況
- ・被害、火災の発生状況
- ・救急隊の状況
- ・自分が避難すべき場所
- ・ライフラインの状況

7. 屋外にいるとき、緊急地震速報以外にどのような媒体を使って伝えられると有効だと思いますか？（複数回答可）

①街頭テレビ	196名
②携帯電話	351名
③街頭放送	312名
④駅や電車などの電光掲示板	225名
⑤その他（具体的に： ）	14名
未回答	28名

その他の回答

チラシ、ヘリコプター、携帯ゲーム機



(4) 地震防災訓練についてお尋ねします。

1. 訓練が行われることを事前に知っていましたか？(いずれか一つに○)

①知っていた	419名
②知らなかった	76名
未回答	24名

2. 指定された避難階へ避難するまでに何を行いましたか？(複数回答可)

①初期消火訓練に参加	24名
②閉じ込め者の救出訓練に参加	10名
③負傷者の応急救護・搬送訓練に参加	24名
④避難誘導訓練に参加	56名
⑤何もしていない	350名
⑥その他(具体的に： )	27名
未回答	53名

その他の回答

- ・身の安全の確保
- ・院生の講義を聞いていた
- ・アンケートをとった
- ・避難ルートの確認

3. 学科や学部ごとに指定された避難階を知っていますか？(いずれか一つに○)

①知っている	70名
②聞いたことはあるが、よくわからない	93名
③知らない	319名
未回答	54名

4. 指定された避難階・教室へ避難後、安否確認はスムーズに行われましたか？

①はい	343名
②いいえ(理由： )	119名
未回答	54名

その他の回答

- ・留年した人がどの教室に行けばいいのか分からなかった
- ・ICカードの読み取りが出来なかった
- ・先生たちも段取りを理解出来ていなかった
- ・帰る人がいた
- ・避難階を知らなかった
- ・1階にいたためそのまま外へ出た

5. 避難教室での安否確認後、どのような訓練に参加しますか？(複数回答可)

①応急救護訓練	33名
②講演	210名
③煙体験	33名
④起震車体験	7名
⑤仮設トイレ設営訓練	13名
⑥地震座布団体験	5名
⑦搬送訓練	1名
⑧展示見学	30名
⑨ロープ訓練	4名
⑩初期消火訓練	7名
⑪炊き出し訓練	40名
⑫防災資機材の使用訓練	6名
⑬AED・心肺蘇生訓練	4名
⑭171体験	2名
⑮その他(具体的に： )	12名
未回答	220名

(5)最後に・・・

■今回のような地震防災訓練は今後も必要だと思いますか？(いずれか一つに○)

①必要だと思う	322名
②わからない	83名
③必要ではない(理由： )	42名
未回答	48名

■今後体験してみたい訓練があれば教えてください。

主な意見

- ・滑り台みたいなもので避難
- ・時間の予告なし
- ・帰宅経路の確認
- ・避難のみの訓練

■防災訓練で気づいた点や感想、今後に向けた要望などございましたらお聞かせ下さい。

主な意見

- ・訓練参加者が少ない
- ・指示が聞こえない
- ・参加者の意識が低い
- ・避難した教室が狭い
- ・うっかりヒールのあるパンプスで来てしまったので疲れた。災害時はスニーカーが良いと

思った

- ・館内アナウンスが聞こえなくて何をしたいのか分からなかった
- ・ICカードの読み取りが遅い
- ・もっと手際よく訓練を進行していくべきだと思う
- ・学部ごとの避難階は事前に知っていないとスムーズに避難しにくいと思った
- ・新宿校舎だからこそその訓練をやってほしい
- ・炊き出しがおいしかった
- ・緊迫さが欠ける部分が多かった

#### 4. 2 地震防災訓練後の反省会での意見

新宿校舎総合防災訓練の終了後、本学教職員および新都心の地域減災セミナー参加者も出席し、本年度の訓練に関する反省会が 28 階会議室で 17 時まで行われた（図 4-2）。反省会には 63 名が出席した。なお、議事録のとりまとめは、新都心の地域減災セミナー事務局が行った。



図 4-2 訓練後の反省会の様子

##### (1) 高層階発災対応訓練

○建築学科・大橋先生（24-26 階担当）

- ・訓練 3 回目、図上訓練入れて 4 回目、一応ストーリーは頭に入っているのだが、相変わらず実際は非常に混乱した。特に、25・26 階は発煙をしたため、煙で平常心がなくなった。あらためて訓練の大切さを認識した。
- ・25 階から 1 階まで 75kg の人形を運んだ。ところが思っていた以上に重く、担架に載せることすら難しく、移動にも手間取った。負傷者の移動が非常に難しいというのを体感した。
- ・備蓄品に足りないものが多く、日常の点検が足りないことを感じた。非常灯のライトに全て電池が入ってなかった。日々の点検が大切。
- ・無線のチャンネルの使い方など難しかった（すぐチャンネルが変わってしまう、雑音が入る）。連絡がとれるまで 30 分以上かかった。
- ・体験を含めて訓練の大事さを非常に感じた。

○東京ガス・秦氏（25 階見学）

- ・出火してから初期消火の指示がでるまでの時間が非常に長かった。消火器の場所がわからず、

なかなか集まらない(10本必要な中、4本以降がなかなか集まらない)

- ・負傷者(人形)が2人残ったまま学生を避難させてしまったので、運ぶのに苦労した。無線を活用して学生を踊り場に交代要員として配置してはどうか。
- ・消火器の使い方がわからず戸惑う学生が何人もいた
- ・全体的の流れは昨年よりよくなっている

○鉄道総研・山本氏(25階見学)

- ・階段から降りてくる際、火災のことが心配だった。実際は焦って転倒などの危険がでてしまうかも。「今は安全だ」など全体の状況を簡単でよいので、逐次流してくれると安心する。

○(25階見学)

- ・館内放送はこまめに流すべき。火災があるか、消火はされたか、避難経路はこれでよいか、迂回経路があるか、下でとどまっているべきか?救助活動すべきか、など。そういう判断には館内放送が重要で避難する途中から救助にも向かえる。

○(25階見学)

- ・消火とか救出救護を一生懸命されているのはわかるが、暗いパニック状況の中で迅速に動くには、リーダーが大声をだして指示をすると、みんながそれについていくような行動するようになる。短い言葉で大きな声。リーダーは2番手まで決めておく。
- ・実際は大勢が一斉に避難するので、避難はより大変になる。ヘルメットやかかとの低い靴を履いていたのはよかった。靴(動けるくつ)は日頃から用意しておくべき。また降りる際に渋滞したり、転倒が考えられるので、10-20人のブロックをつくって、避難するとスムーズになるのでは。また階段が合流する場合は、合流入口に誘導係も必要。

○大成建設技研・坂本氏(25階見学)

- ・昨年の映像では大混乱だなという印象だったが、今年は避難などわりとスムーズにやっていたと思う。
- ・25階では見学者が非常に多く、邪魔だったと思う。
- ・煙がでるタイミングが(机の下にもぐっている時からでていた)早いと思った。煙が充満した場合、消火というより逃げなければいけないのではないかと→タイミングを遅くして、煙が出る前に消火、煙が見えたら即避難、というように設定すればよいのではないかと。

○(25階見学)

- ・地震の発生の放送の後、揺れがおさまったという放送がなかったため、次の行動のタイミングが遅れた。「揺れは収まりました、直ちに火の元の確認・・・」などの放送があるとスムーズに行くのではないかと。
- ・避難の際、当初6人で運ぶ予定が、4人だった。最初の布担架は大変苦労していたが、その後作ったダンボール担架は、コーナーギリギリのサイズだったが、そのように下ろせるので、非常によかったのではないかと。踊り場で交代して下ろすと(上記の1アイディア)というのは、実際の状況だと人員を確保しにくいので、最小限の労力で下階まで下ろせるような方法がよい。

○消防科学センター(25階見学)

- ・消防設備を活用(把握)しきれていなかった。実際は消火シャッターなどが下りるので、そうすると避難経路も変わるはず。その確認が必要。

- ・防災センターがどのようにリンクされたのかが、わからなかった。消防的にいうと、防災センターがもっと機能すべきで、消火線の上に非常電話があり、それを使うと防災センターと楽につながる。
  - ・消火器がわからない→普段から確認しておくべきだが、でっばった標識など、工夫するとよいのではないか。
  - ・学生をもっと組み込むべきで、普段からリーダーを決めるようなシステムを作るとよい。
- (25 階見学)
- ・夥しい本は固定しているのか？怪しい部分があったので、家具の固定など、けが人を出さない方の努力も必要かと思う。

## (2) 災害対策本部訓練

- 総務部・田村氏（防災管理者）
- ・情報の定期的な提供がなされてなかった、それが大事。本部の立ち上げはシナリオなく進めたが、まだまだ訓練の枠からでていないことが反省点。
- 建築学科・三好先生
- ・地震が起こり、部署から災対本部に駆けつけて、立ち上げた。発災後 10 分で活動を始めて、30 分後には情報収集するための段取りができた。（発災から 30 分という目安はクリア）情報を待っている場合が多く、自分の役割の認識と相手先に確認する積極さが欠けた。こちらから確認の連絡をする必要があるとおもった。本部内でもきちんと声を出し、復唱するようにすべきだった（聞き違い、言い違いをなくす）。
  - ・集まった情報で行動・判断するが、情報のモレや補足のチェック、情報を追いかけるが必要である→チェックシートなど報告様式を決めておいた方がよい
  - ・学生のケアのためにも情報を流していく。
  - ・防災センターをもっと活用する。
- 学長・水野先生（災害対策本部—総括係）
- ・昨年度までは、アナウンス原稿があったが、今年は自由にやるという設定だった。ただ訓練の場合、シナリオ作者の意図が十分にわからず、どこまでやってよいか汲み取り難い。自然に近い形でやるとすれば、事前に地震防災マニュアルができていて、要点を各フロアに貼るなど、日頃からの情報伝達があるという状態が必要。教室階は事務職員が誘導するよりも、先生や学生が把握していて、各自移動するほうがよいのではないか。
  - ・言葉の定義があいまいで混乱した。「避難完了」だけでも 2 通りの意味がある；危険場所からすべての人が避難したとき、避難場所にすべての人が集まり終わったとき。その他、フロア責任者と防災拠点責任者の違い、高層階（どこから？）など
- 副学長・長澤先生（災害対策本部—傷病者安否確認の責任者）
- ・安否確認の紙が読めなかった（真っ暗になり、非常灯のライトで焦った状態で書いているので、慌ててしまう、漢字がかけない（ど忘れ）、などの理由）
  - ・色々な情報がいろいろ欠けていた。
  - ・「〇〇完了」など言葉の意味がわからない→言葉の整理が必要。
  - ・人に加え、建物の全体の動きがわからなかった→防災センターと連携すると上手くいくので

はないか？（建物の状況を防災センターで把握する）

- ・報告時、完了の報告のみで、何名の学生がそこにいるのか、という報告が半分くらいしかなかった。人数の確認が必要。
- （2階災害対策本部）
- ・高層で「安否確認など手間取っているうちに、低層部で火災が起こったらどうしよう、早く逃げなくてはいけないのでは？」という思いで混乱はしたのではないか？また本部でも高層階の人々を（火災が起こるなどの突発的状況の中で）どのように誘導すればよいか、という判断が難しいと感じた。
- （2階災害対策本部 - 情報整理係）
- ・全体で10箇所くらい火災が発生し、すぐに消火の連絡があったが、26階からなかなか連絡がなく心配した。問合せもしたが、無線や非常電話も通じなかった。

### (3) 新宿西口現地本部訓練

- 総務部・高橋氏
- ・30名ほどで本部を立ち上げた。
  - ・情報の受付と収集との連携が難しかった。
- 小田急・利光氏
- ・重症重体者の問題、EVの閉じ込め問題、建物に足を挟まれた場合大型ジャッキがないと救出できないなど、1事業者として解決できない問題を、情報を一元化することにより救助の優先順位が上がる仕組みに取り組む必要がある。
  - ・滞留者の問題：先日の台風の際、交通の麻痺によって、建物の外界部に携帯で連絡を取る通勤客が多数滞留した、地下食料品売り場が滞留者で入口がふさがった、など滞留者の問題は深刻だった。従業員の安全確保・パニック・暴動を防止するため基本的には店を閉める考えだが、今後滞留者の対応を考える必要がある。自社の防災訓練では、実際誰も行動が起せず指示命令ができなかった。特に経験の浅いメンバーやアルバイトだったせいもあるが、誤報に対応できなかった。今日感じたことは、実際はシナリオ通りにはいかない、情報を取りまとめるだけではないのではないかと思う。本日の経験を自社に持ち帰り検討していきたい。
- （見学）
- ・各対策本部の仕事は現状の状況を把握して、指示命令をだす場所。そのために情報の収集、情報のどのように提供するか（館内放送）、情報の整理の仕方（ホワイトボードに情報を時系列的に書き、それぞれに対する本部の対応を追記していく）の検討が必要。これらの行動を行うために防災のプロである防災センターと連携をして対応するべきだと思う
- エステック株式会社・伊藤氏（エステック防災センター）
- ・防災センターに災害対策本部（40弱あるテナントの災害対策本部の総括）としてつめていて、工学院からも逐次情報がきていたが、ボードが見つらく思うように情報収集できなかった。
  - ・訓練後アンケートをとったが、負傷者に関して、本屋で2名でていた他は、ほとんどが負傷者がでないという認識で驚いた。負傷者がいないのに、負傷者対応の訓練はおかしい。防災訓練をする際、設定をどうするか、みなさんで考えていきたい。

- ・災害伝言ダイヤルの認知度もひくかった。(伝言録音、再生、両方できるが20%程度) そういう細かい訓練も必要と感じた。防災センターといえど、訓練が必要。

○損保ジャパンリスクマネジメント・児島氏

- ・工学院大学の訓練は貴重である。1600人もの人を1つのビルも動員して訓練を行うことは民間では無理。一番大切なのは、命の問題で、負傷者の対応で真剣に皆さんで取り組んでいかなければならない。今後ますます継続して取り組んでほしい。

#### (4) 訓練全体

○大橋理事長

- ・訓練が上手くなった。以前は避難方法や行動に関して、本部に様々な連絡がはいったが、今回は問合せがほとんどなかった。逆に本部からの発信が少なかったことは、反省点。訓練が大切と改めて感じた。自分自身も年々災害に対する瞬発力が上がっていることを感じている。今度も未来に起こりうる災害に少しでも被害を少なくできるよう、皆様と協力して訓練を繰り返していきたい。

### 4. 3 改正消防法に基づく消防計画に関する調査検討委員会からの意見

「改正消防法に基づく消防計画に関する調査検討委員会（総務省消防庁および（財）消防科学総合センター17名）」が本訓練を視察し、訓練後に文書で以下の意見を頂いた。

#### (1) 自衛消防隊長等（統括管理者等）の活動状況（指示、命令の状況等）

- ・隊長の報告の受けかた、指示命令の際の落ち着いた毅然とした態度で指示命令を行っており、よかったと思われる。
- ・隊長は、要員が、駆けつけたとき、業務内容（活動内容）をより具体的に指示をすると更に良くなると思われる。
- ・隊長が、全て一人で指示を与えるのは、難しい場合があるので、補佐役がそばでアシストすることも必要であると思われる。

#### (2) 自衛消防隊の初動対応について

ア 本部隊（防災センター）：情報収集、情報提供、館内放送指示状況等

- ・本部隊の情報収集、指示、命令等は、防災センターを積極的に活用すると良いと思われる。なお館内放送等で防災センターへ非常電話等を活用して被害状況等を報告するよう呼びかけることも必要である。
- ・本部隊は、積極的に情報収集に努め館内放送等により情報提供を行い、パニック防止に努めると更に良くなると思われる。（火災発生の有無、建物損傷の状況、避難経路の障害、人身被害の状況等の情報の収集は大切である。
- ・指揮統制を行うと同時に状況を記録するよう心がけると良いと思われる。
- ・火災、けが人等重大事案の発生に対しては、本部隊による地区隊への応援も必要であると思われる。

#### イ 地区隊：初動活動、情報収集（被害情報等）、情報提供等

- ・負傷者の救出について地区責任者の指示、命令を大声で明確に行った方がよいと思われる。
- ・地区の状況や対応状況を本部等（防災センターを含む）に報告するとともに状況に応じてもっと付近にいる者に明確な指示をして活用するとよいと思われる。
- ・25階の初期消火、救出救護等を行う場合、リーダーが、大きな声で明確に指示すると更に良くなると思われる。（言葉は、丁寧でなく命令調の方がよい）
- ・25階の火災発生について、地震時には、スプリンクラーが当てにできないので多量の消火器を集め火が小さい内に一挙に消火する方がよいと思われる。（消火器の収集に苦慮していたが、日頃の消火器の設置場所を際確認しておくが良いと思われる）
- ・煙の量によって、初期消火するのか避難するのか、共通認識を確認しておく必要があると思われる。

### (3) 災害対策本部の活動状況

- ・情報の収集は、無線機、非常電話等で受けたら伝票、パソコン、白板等により整理すると良いとおもわれる。
- ・情報は、時系列に整理するとともに重要情報については、確認をとる必要があると思われる。
- ・集められた情報に対してどのように対応すべきかの確かな指示、命令をおこない、その記録を整理する方がよいと思われる。
- ・上記の指示、命令を行った後に結果がどの用になったかを報告させ、次の打つ手に反映させると良いと思われる。

### (4) 避難状況

#### ア 避難誘導状況

- ・25階の地震発生の放送があったが、その後の館内放送が、なされないため机の下に避難したままで煙が充満し、避難のタイミングを失ったような感じがする。
- ・隣接ビル等の関係者との連携は、工夫が見られたが、実災害においては、自分のビルの対応に追われることが予想されるのでその点も考慮した方がと良いと思われる。
- ・防火戸の閉鎖がないという条件で訓練を行っているようであるが、実際には、防火戸の閉鎖の中を避難していくので実地に即した訓練が必要であると考ええる。

#### イ 避難者の行動状況

- ・上階からの階段による避難の場合は、地区または、階の責任者が、上階からの避難者の状況や下の階の状況をよく考慮して誘導しないと団子状態になり被害が発生する恐れがある。特に各階からの避難階段への避難者の合流点では注意を要する。
- ・冷静な避難行動であり、今後とも訓練を重ねることで更に効果が現れると思われる。
- ・避難者の服装で全員かかとの低い靴を履いていたのは、階段における転倒防止に役立ちよかったと思われる。

(注) 避難中に館内放送により状況が伝えられると避難者の不安が更に解消されると思われる。



## (5) その他

### ア 訓練参加者の活動状況等

- ・25階から学生がダミーを1階へ搬送する時4名で行っていたが、救護搬送状況は、よかった。しかし搬出に際しての明確な指示等が有ればなお良かったと思われる。
- ・時間の経過、火災発生後の対応、状況の把握など実災害にそぐわない部分が、見受けられたので想定に更に工夫を加えると良いと考える。
- ・傷病者搬送用の段ボール担架は、アイディアはよいが、もう少し小さく作るか階段での曲がりかたがとれるような工夫をおこなっても良いと思われる。
- ・無線機、非常電話等の通信手段、懐中電灯等の照明器具等活動に直結した資機材の整備、活用の検討も必要であると思われる。
- ・訓練参加者が、大勢で大変熱心に活動を行っていて良かった。
- ・訓練終了後ブロックごとに反省会を行って、忘れないうちに意見をまとめていたが、大変良かったと思われる。
- ・訓練終了後の検討会で各部署の責任者が、良い点、見直す点など活発な意見があり大変良かった。
- ・理事長、学長等の最高責任者の参加と率直な意見交換等は、大変良かったと思われる。このように上層部の参加と理解が訓練の重要性を参加者に意識付けることができ、いざという時に成果を発揮すると思われる。
- ・特に最後の反省会は、今回の改正消防法の主眼である訓練、消防計画の見直しに反映でき大いに成果があったと思われる。

### イ リーダーシップが発揮できるかどうか

- ・昼間の時間帯なら教職員の指示のもと、活動できると思うが、研究生活では、夜遅くなることも多く、夜間は学生のみになってしまう、その際にまとまった活動ができるように、学生間でのリーダーも決めておいたほうが良いと思われる。

## 4. 4 新都心の地域減災セミナー参加者からの意見

新都心の地域減災セミナーの一環としてセミナー参加者等が本訓練に参加し、(1)高層階発災対応訓練(発災対応訓練:高層階→避難・安否確認訓練:低層階→情報集約訓練:災害対策本部)(21名参加)、(2)災害対策本部訓練(2階Job Station前)(10名参加)、(3)新宿西口現地本部訓練(1階アトリウム)(12名参加)において表4-1～表4-3に示す項目を検証して頂いた。以下は自由回答を整理したものである。なお、検証結果のとりまとめは、本セミナー事務局が行った。

### (1)高層階発災対応訓練(発災対応訓練:高層階→避難・安否確認訓練:低層階→情報集約訓練:災害対策本部)

- ・学生さんの活動が全般的に要領を得ていない、リーダーの強い指示が必要と思われる
- ・自分もその一人ですが、見学者が多かった(すぎた)ように思います。
- ・煙の発生は少し後の方が良いのではないかと。机の下にいるときから煙まみれなので、初期消

火対応に緊迫感がなかった

- ・ 発災対応訓練の基本は「できるひとが、できることをできるときに」にある。みんなが救護者であり、消火班である。役割以外の人は何もしていない
- ・ アナウンスの内容が不足(情報不足)。エレベータ停止状況など繰り返しアナウンスが必要。各階での火災発生と消火の状況など継続的に必要。
- ・ 避難するかどうか自分の行動を決める情報が不足していると思う。
- ・ 見学者のため、本評価シートで評価できない項目が多い。
- ・ 緊急地震速報以降の放送がなかったため、不安感が強くなる。適宜、状況報告の放送があった方がよいと感じた。
- ・ 火災発生、避難誘導の放送がなかった
- ・ 全館アナウンスの回数が少ない。本部からの放送が少ない。全館へ安心感を与える必要あり。
- ・ 緊急避難は迅速且つ落ち着いてがモットー！落ち着き過ぎていた感大。
- ・ 起震車、アルファード、煙体験、ロープ取扱等、とても参考になりました。
- ・ 2回目の全館放送聞きづらかった。
- ・ 負傷者の避難はスムーズとは言い難い(体力勝負、学生頼み)お手製ダンボール担架よりも布担架がスムーズだった。
- ・ 放送は、各階で行動を開始すると何をいつしているのか分からない。
- ・ フロア一点検マップは有意義だと思ったが、現在地がわからなかったため、活用しづらかった。
- ・ 初期消火行動が不十分。

## (2) 災害対策本部訓練 (2階 Job Station 前)

- ・ 連携の部分で、傷病者数が不一致。
- ・ 情報収集の受付者が不足気味。
- ・ 傷病者の重複チェックが行われた(状況把握 良い点)
  - 14時状況判断…本部でしてない
  - 14時指示…未確認フロアへの指示あり
  - 15時状況把握・・・負傷者→情報あるも、現状不明
- ・ トランシーバー、無線発信はどこからの発信がどこへか。会話終了時の‘どうぞ’が、必要。会話開始も一呼吸置いてから。
- ・ 電話受信時は復唱しながらメモとること。
- ・ ホワイトボード、負傷者用、被害情報用とあったが、被害情報用に負傷者情報混入→フォーマットを用意したらどうか。
- ・ 23Fで心肺停止1名発生しているのに、本部での対応が何もない(1階済報告でよしとした)。
- ・ LandeVoiceの緊急通報が一切使われず、最終退室ボタンとして使ったらどうか  
役割分担、名前だけでなく、ここでこうやって下さいと人を集めて指示した方が良い、現実味に欠ける。
- ・ 立ち上げ時、無口の方が多い、自分の役割及び行動についてもっと相手にわかるように行動する。

- ・担当者が不明確、きちんとコミュニケーションをはかる事が大切である。
- ・本部として、情報収集をするチームと、災害対策をたてる方と、明確に。
- ・全体情報を適切にながす(定期的)。
- ・情報収集するだけでなく情報を投げかける事も。
- ・行動を起す時に言葉定義を整理しとく必要もある
- ・人員の確認が大切である。
- ・訓練の内容が明確でなかった
- ・情報収集はしっかりできていたと思いますが、本部からの指示、情報提供が、もう少しあった方がよいと感じました。
- ・安否確認の情報伝達内容が上手く伝わっていない場面があったと思います。特に人数把握がされていなかった。
- ・見学していて動きが見えませんでした。まとまりがない、スピード感がない。緊急時には丁寧言葉は不要。無駄が多い。
- ・設備関係情報が足りない。
- ・情報収集は各階責任者→2階受付者がメモ用紙に記入→該当ヶ所(火災、重体重傷者、EV 閉じ込め、水損、落下崩壊ごと)に添付→統括管理者がそれを見て判断(優先順位を即断)して指示→指示結果を上記メモの隣に貼り付け、とすべき。
- ・対策本部としては、情報を収集するだけでなく、判断、指示するべきではないか。
- ・避難の意味、効果は疑問→むしろ落ち着くまで、その場で待機できないか、よって避難関係のチェックは？
- ・全館把握の階別図（黒板に書いてあったが）は、事前に大きくプリントアウトしておくべきでないか。
- ・統括管理者は即時に、優先順位を判断して的確に指示すべき 情報トリアージを取り入れるべき。軽微な事象は全て後回しにする等。
- ・各階ごとに担当者、責任者を決めておいて、このような状況の時に、その階の状況把握や集約をして、対策本部に報告するシステムとすべき、そうなれば、対策本部は5、6人で済む。
- ・今後の対応方針は、既に大災害後の安定した時に行われるのであるから、いわゆる総務部計の担当役員に決定させるべきで、合意形成は不要ではないか。
- ・この訓練のポイントは、①火災→初期消火をいかにするか、②重体重傷者をいかに迅速に対応するか(軽症者は後回し)、③設備系の被害拡大をいかに早目対処するか、の3点であろうと思われるので、そのことを中心とすべきだと思う。
- ・周辺情報が必要なのか？無駄な情報収集は除くべきでは。
- ・館内放送で各訓練の支持があればさらに良い。
- ・無線機の使用開始チェックがない（チャンネル No 同じ?）。
- ・災害の案内放送(継続情報など)があればよい
- ・プロジェクターは高い位置に設置した方がよい、人が映像を邪魔している。
- ・電源供給不能の場合を考慮する～ホワイトボード、付箋。
- ・役所・警察、消防との連携を密にして活動する方が効果的。報告連絡は密にする～避難を迅速にし、かつ人員把握のため。

- ・館内放送で状況説明を！
- ・無線機の活用が遅い。
- ・情報受付係が不足。
- ・情報収集班が一番重要だが、人数が足りない。
- ・点呼確認ができていない、人数をすることと安否情報が大切。

### (3) 新宿西口現地本部訓練（1階アトリウム）

- ・ショッキングピンクのポストイットが見難い。ポストイットとホワイトボードの役割の違いが良くわからなかった。
- ・訓練は情報をホワイトボードやパソコンに整理するレベルであり、情報の取り纏めは出来ていたが、人命に関わる重要な情報（負傷者数、被害状況、要援護など）の認識・把握まで至っていなかったようだ。重要な情報に関しては、報告用紙（フォーマット）の工夫や情報（文言）にマーカーを入れるなど、発信する側・受ける側の相互確認が必要である。今後は、全体情報から緊急援護対応（火災発生、瀕死の重傷者対応、エレベーター閉じ込め、ジャッキ・重機必要など）の優先付けを決める仕組み作りが必要だと痛感した。
- ・情報量を多くして現地本部の運営にどのような不具合が生じるか、またどのようなシステム構築が必要かを検証する必要があると思います。
- ・本部スペースに狭さを感じました。災害時は、西口現地本部へ多くの方が来館されますので、スペースに余裕を持たせた方が良いと考えます。
- ・ホワイトボードの掲示板については、もう少しわかりやすいものが必要だと感じた。
- ・情報を集めるだけでなく、今後はどう情報を活用することができるかが重要である。
- ・情報収集→情報整理ルートに関して、情報整理責任者が事務職のようにになっている、役割分担を明確にすべきである、情報収集が事業者からの情報報告うけとり、そのまま情報整理にわたすべきである。
- ・電源確保は出来ない時の対処方法を考えておく（非常電源は約2時間）
- ・情報の伝達、共有がよくない
- ・情報入手→ある場所で止まって全体にまわらない
- ・訓練は大声を出してやった方がよい
- ・WEB GIS は活用されていた（災害時優先電話、防災無線は×）。

表 4-1a 高層階発災対応訓練（発災対応訓練：高層階→避難・安否確認訓練：低層階→情報集約訓練：災害対策本部）の検証結果（21名回答）

担当者	評価内容	回答	回答数	回答率
<b>・13:30 想定地震発生：緊急地震速報と回避行動（高層階）</b>				
防災センター	緊急地震速報などのアナウンス内容は、よく聞き取れたか？	はい	20	95%
		いいえ	0	0%
		どちらとも いえない	1	5%
		未回答	0	0%
教職員	学生などへの危険回避の呼びかけ・指示は行われたか？	はい	19	90%
		いいえ	1	5%
		どちらとも いえない	1	5%
		未回答	0	0%
全員	緊急地震速報によって回避行動は速やかに行えたか？	はい	19	90%
		いいえ	1	5%
		未回答	1	5%
<b>・13:35頃 発災対応型訓練（高層階）</b>				
<b>【学科事務室（防災拠点）】</b>				
統括責任者	担当学科の責任者として状況を把握し、指示をしているか？	はい	9	43%
		いいえ	4	19%
		どちらとも いえない	1	5%
		未回答	7	33%
情報収集担当	災害対策本部（または防災センター）との通報連絡は行えたか？	はい	10	48%
		いいえ	1	5%
		未回答	10	48%
記録担当	担当学科の被害・傷病者を被災状況等報告用紙に記録したか？	はい	6	29%
		いいえ	2	10%
		未回答	13	62%
<b>【担当学科・各階】</b>				
フロア責任者	担当階の責任者としてのリーダーシップを発揮したか？	はい	7	33%
		いいえ	10	48%
		未回答	4	19%
初期消火班	学生等と協力して初期消火活動（消火器収集）を速やかに行えたか？	はい	8	38%
		いいえ	10	48%
		未回答	3	14%
応急救護班	学生等と協力して傷病者対応（応急処置・搬送）を速やかに行えたか？	はい	6	29%
		いいえ	9	43%
		どちらとも いえない	1	5%
		未回答	5	24%
	学生等と協力して閉じ込め対応（バール使用）を速やかに行えたか？	はい	9	43%
		いいえ	4	19%
		未回答	8	38%
通報連絡班	担当階の被害情報収集と学科事務室への連絡通報は行われたか？	はい	8	38%
		いいえ	1	5%
		未回答	12	57%
避難誘導班	避難経路の安全確認を速やかに行えたか？	はい	12	57%
		いいえ	2	10%
		未回答	7	33%
全員	災害対策本部からのアナウンス内容は、よく聞き取れたか？	はい	16	76%
		いいえ	3	14%
		未回答	2	10%
<b>【学科事務室（防災拠点）】</b>				
統括責任者	担当学科の被災状況など報告用紙・避難完了の最終確認を行ったか？	はい	8	38%
		いいえ	2	10%
		未回答	11	52%
情報収集担当	災害対策本部へ状況報告・避難開始の通知を行ったか？	はい	8	38%
		いいえ	1	5%
		未回答	12	57%

表 4-1b 高層階発災対応訓練（発災対応訓練：高層階→避難・安否確認訓練：低層階→情報集約訓練：災害対策本部）の検証結果（21名回答）

担当者	評価内容	回答	回答数	回答率
<b>【担当学科・各階】</b>				
フロア責任者	担当階の発災対応・情報収集・避難の最終確認を行ったか？	はい	10	48%
		いいえ	0	0%
		未回答	11	52%
応急救護班	学生等と協力して傷病者を1階救護所まで搬送(付添)したか？	はい	14	67%
		いいえ	0	0%
		未回答	7	33%
通報連絡班	学科事務室へ避難完了通報を行ったか？	はい	8	38%
		いいえ	1	5%
		未回答	12	57%
避難誘導班	指定避難階を確認し、指定避難階まで円滑な避難誘導が行えたか？	はい	13	62%
		いいえ	2	10%
		未回答	6	29%
全員	指定避難階までの避難は支障なく行えたか？	はい	14	67%
		いいえ	0	0%
		未回答	7	33%
<b>・14:15頃 安否確認訓練(指定避難階)</b>				
統括責任者	指定避難階にて担当学科の学生・教職員の避難完了を確認したか？	はい	10	48%
		いいえ	0	0%
		未回答	11	52%
	担当学科の学生・教職員の安否の最終確認を行ったか？	はい	8	38%
		いいえ	0	0%
		未回答	13	62%
情報収集担当	指定避難階への避難完了報告を災害対策本部へ行ったか？	はい	8	38%
		いいえ	0	0%
		未回答	13	62%
	安否確認終了後、災害対策本部へ最終報告を行ったか？	はい	6	29%
		いいえ	2	10%
		未回答	13	62%
全員	名簿やICカードリーダーによる安否確認は支障なく行えたか？	はい	7	33%
		いいえ	2	10%
		未回答	12	57%

表 4-2a 災害対策本部訓練（2 階 Job Station 前）（10 名回答）

項目	評価内容	回答	回答数	回答率
<b>・13:30 想定地震発生:緊急地震速報と回避行動</b>				
報告・指示	緊急地震速報などのアナウンス内容は、よく聞き取れたか？	はい	10	100%
		いいえ	0	0%
		未回答	0	0%
<b>・13:35頃 メンバー参集と本部の設営</b>				
本部立ち上げ	メンバー参集と役割分担・代行者の確認は速やかに行えたか？	はい	9	90%
		いいえ	1	10%
		未回答	0	0%
情報システム	無線機、緊急通報システム、Web GISなどは正常に機能しているか？	はい	9	90%
		いいえ	0	0%
		未回答	1	10%
報告・指示	本部長・統括・防災管理者は対応班に指示をしているか？	はい	9	90%
		いいえ	0	0%
		未回答	1	10%
	新宿校舎および八王子校舎へ本部立ち上げやパニック防止・行動指示などは行えたか？（館内放送、無線機、緊急通報システムなど）	はい	9	90%
		いいえ	0	0%
		どちらとも いえない	1	10%
		未回答	0	0%
西口現地本部（1F）の設営指示は行えたか？	はい	4	40%	
	いいえ	2	20%	
	未回答	4	40%	
状況把握	高層階・防災拠点（各学科系列事務室）からの報告は把握できたか？	はい	7	70%
		いいえ	2	20%
		どちらとも いえない	1	10%
		未回答	0	0%
	指定避難階からの報告（講義中の学生・教員の避難）は把握できたか？	はい	6	60%
		いいえ	2	20%
		どちらとも いえない	1	10%
未回答	1	10%		
連携	新宿校舎・警備室やエステック情報ビル・防災センターと連携がとれているか？	はい	6	60%
		いいえ	2	20%
		未回答	2	20%
	八王子校舎と連携がとれているか？	はい	9	90%
		いいえ	1	10%
		未回答	0	0%
	西口現地本部（1F）と連携がとれているか？	はい	7	70%
		いいえ	2	20%
		未回答	1	10%
本部運営	本部運営のための機材や本部のレイアウトは適切か？	はい	6	60%
		いいえ	3	30%
		未回答	1	10%
	本部の協力者人数、各班の人員配分・配置などは適切か？	はい	3	30%
		いいえ	7	70%
		未回答	0	0%

表 4-2b 災害対策本部訓練（2階 Job Station 前）（10名回答）

項目	評価内容	回答	回答数	回答率
<b>・14:00頃 本部活動訓練（避難開始・安否確認・傷病者対応など）</b>				
状況把握	高層階・防災拠点（各学科系列事務室）からの報告（被害、傷病者、避難開始）は把握できたか？（無線機、緊急通報システム）	はい	6	60%
		いいえ	2	20%
		未回答	2	20%
	1階救護所へ搬送されてきた傷病者は把握できたか？	はい	7	70%
		いいえ	1	10%
		未回答	2	20%
	各種情報が更新され、被害全体像を把握する努力は行われているか？	はい	8	80%
		いいえ	1	10%
		どちらとも いえない	1	10%
未回答		0	0%	
状況判断	傷病者・被害に対して状況判断と意志決定が行われたか？	はい	4	40%
		いいえ	3	30%
		どちらとも いえない	1	10%
		未回答	2	20%
		未回答	0	0%
指示	高層階に対して指定避難階への避難と安否確認は指示できたか？（館内放送、無線機）	はい	6	60%
		いいえ	2	20%
		未回答	2	20%
	西口現地本部（1F）へ新宿校舎内の被害・傷病者・在館者情報などの報告の指示は行われたか？	はい	5	50%
		いいえ	1	10%
		どちらとも いえない	1	10%
		未回答	3	30%
<b>・15:00頃 本部活動訓練（被害全体像の把握・意志決定など）</b>				
状況把握	新宿校舎内の被害情報・傷病者情報・安否情報、八王子校舎の安否情報（3限目講義中の学生情報）は集計、集約はされたか？	はい	6	60%
		いいえ	0	0%
		未回答	4	40%
	新宿校舎周辺など地域の被害情報・交通情報などは集約されたか？	はい	6	60%
		いいえ	0	0%
未回答	4	40%		
状況判断	被害の全体像が把握され、今後の対応など意思決定がなされたか？	はい	4	40%
		いいえ	1	10%
		どちらとも いえない	1	10%
		未回答	4	40%
報告・指示	今後の対応方針など館者へ連絡がなされたか？（館内放送）	はい	4	40%
		いいえ	2	20%
		未回答	4	40%



表 4-3 新宿西口現地本部訓練（1 階アトリウム）（12 名回答）

項目	評価内容	回答	回答数	回答率
<b>・13:30 想定地震発生：緊急地震速報と回避行動</b>				
報告・指示	緊急地震速報などのアナウンス内容は、よく聞き取れたか？	はい	5	42%
		いいえ	7	58%
		未回答	0	0%
<b>・13:35頃 西口現地本部メンバー参集と本部の設営</b>				
本部立ち上げ	メンバー参集と役割分担・代行者の確認は速やかに行えたか？	はい	8	67%
		いいえ	2	17%
		未回答	2	17%
情報システム	Web GIS、災害時優先電話、防災無線などは正常に機能しているか？	はい	8	67%
		いいえ	0	0%
		未回答	4	33%
報告	周辺事業者による現地本部協力者から報告がなされているか？	はい	10	83%
		いいえ	0	0%
		未回答	2	17%
連携・連絡・状況把握	新宿区災害対策本部・東口現地本部・広域避難場所の帰宅困難者支援情報提供ステーション（新宿御苑、新宿区中央公園）との連絡・連携は行なわれているか？	はい	3	25%
		いいえ	0	0%
		未回答	9	75%
	工学院大学新宿・八王子校舎の災害対策本部と連携がとれているか？	はい	4	36%
		いいえ	1	9%
		未回答	6	55%
	各種の報告が整理され、地域の状況把握の努力は行われているか？	はい	9	75%
		いいえ	1	8%
		未回答	2	17%
本部運営	本部のレイアウトや機材などは適切か？	はい	8	67%
		いいえ	2	17%
		未回答	2	17%
	各班の人員配分・配置などは適切か？	はい	7	58%
		いいえ	3	25%
		未回答	2	17%
<b>・14:00頃 西口現地本部活動訓練</b>				
情報システム	Web GIS、災害時優先電話、防災無線などが活用されているか？	はい	6	50%
		いいえ	1	8%
		未回答	5	42%
報告	周辺事業者からの情報連絡員から報告がなされているか？	はい	10	83%
		いいえ	0	0%
		未回答	2	17%
状況把握・	情報連絡員からの報告は整理され、活用されているか？	はい	8	67%
		いいえ	2	17%
		未回答	2	17%
	新宿区災害対策本部・東口現地本部・帰宅困難者支援情報提供ステーションからの報告は整理され、活用されているか？	はい	4	33%
		いいえ	1	8%
		未回答	7	58%
工学院大学八王子校舎からの提供された情報は活用できたか？	はい	2	17%	
	いいえ	1	8%	
	未回答	9	75%	
情報整理	新宿駅周辺地域に関する重要情報（被害情報、滞留者情報、要援護者情報、医療機関情報など）が白地図に整理されているか？	はい	6	55%
		いいえ	0	0%
		未回答	5	45%
	新宿駅周辺地域に関する重要情報（被害情報、滞留者情報、要援護者情報、医療機関情報など）が白板に整理されているか？	はい	8	67%
		いいえ	0	0%
		未回答	4	33%
地震情報、広域な被害概要、主要な鉄道・地下鉄・道路の交通機関情報など帰宅支援情報が白板に整理されているか？	はい	10	83%	
	いいえ	0	0%	
	未回答	2	17%	
状況判断	重要情報に対する状況判断と、その対応など意思決定が行われたか？	はい	3	25%
		いいえ	5	42%
		未回答	4	33%
指示	本部長はリーダーシップを発揮しているか？	はい	5	42%
		いいえ	2	17%
		未回答	5	42%
情報提供	情報連絡員、新宿区災害対策本部・東口現地本部・帰宅困難者支援情報提供ステーションに集約した情報提供は行なわれたか？	はい	4	33%
		いいえ	1	8%
		未回答	7	58%

#### 4. 5 新宿駅周辺防災対策協議会からの意見

2009年11月24日の新宿駅周辺滞留者対策訓練検証会(新宿区役所5階大会議室)に向けて、現地本部訓練の参加者に対してアンケートが行われた。アンケートの実施およびとりまとめは、新宿区区長室危機管理課が行った。以下、アンケートの結果である。

##### (1) 災害情報共有システム

- ・被害の大きさが色分けによって、分かるようなシステムになれば、より良いと思います。
- ・インターネットによる情報提供体制の充実が望ましい。

##### (2) 新宿西口現地本部全体

- ・予め現地本部協力者の役割分担を定め、新宿西口現地本部訓練メモを作成し、配布、説明したことは良い。
- ・不足情報の吸い上げが不十分であった。
- ・訓練は次年度も継続すべき。
- ・次の行動を想定し、訓練をすることが重要。  
例：①負傷者の情報あり⇒②病院情報の収集⇒③災害時有線電話の連絡訓練
- ・現地本部協力者と情報連絡者を設けたが、役割の説明が不十分だったように思う。
- ・情報連絡者が1つの事務所から3～4名参加した場合、報告時間や報告内容などについて、もう少し検討が必要かと思う。
- ・情報量を多くして、現地本部の運営にどのような不都合が生じるか、またどのようなシステム構築が必要かを検証する必要があると思います。
- ・訓練とはいえ、もう少し真実味があつていいとおもった。また、あまりにも傍観者的な対応に見えてしまい、今後の訓練においては、本部の役割をもう少し発揮していただけるような訓練をお願いしたい。
- ・本部スペースが狭く感じた。
- ・西口現地本部へ多くの方が来館されますので、スペースに余裕を持たせたほうが良いと考えます。
- ・指示命令がはっきりしていない。
- ・誰が指揮をとっているのか分からない。指揮者が不在である。
- ・指揮者が明確でない。
- ・指揮者に対しては、指揮要領をある程度覚えさせた上で訓練を実施したほうが、訓練効果が上がると思う。

##### (3) 情報収集担当

- ・情報整理の一部も担当してもらっても良い。
- ・情報整理担当との流れ、役割分担を検討する必要がある。
- ・報告された内容確認と「情報整理担当」への繋ぎ役として、情報を扱う重要性和訓練による緊張感を体感できた。
- ・見学者と担当者が混在していたため、担当者の動きが掴めず参考までには至らなかった。

- ・実際にあれだけの人数を集めるのは不可能なので、最低限、何名が必要で、どの情報を収集すべきか、今後、検討すべきだと思う。
- ・各収集した情報が多くの人にわかるような形「大型モニターを活用など」にしてほしい。

#### (4) 情報整理担当

- ・責任者1名に情報報告用紙を集中させたが、対応困難。
- ・責任者に準ずる者を「メインーサブ」の関係で追加配置し、整理に当たらせての方が良い。
- ・情報整理の流れを明確にし、それに則した人員配置をしたほうが良い。
- ・「情報整理用ホワイトボード」の記入方法、検討の必要あり。
  - ①記載項目を設定する。
  - ②記載するのは、項目別にするのか、事業者別にするのかなど…検討の必要あり。
  - ③記入しやすく、判読しやすいものが必要。
  - ④記入された内容を区の防災無線機で報告したが、どういう内容で報告するか精査が必要。
- ・収集された情報に対する選別のありかた…検討の必要あり。
- ・新宿区からの西口担当との役割分担…検討の必要あり。
- ・交通情報など、「情報整理用ホワイトボード」からの転記をする掲示板への記載者を配置する必要があった。予め、配置がされていなかったため、混乱した。
- ・新宿区から提供される交通情報の取得、情報整理担当者への伝達が不十分であった。
- ・人命に関わる重要な情報（負傷者数、被害状況、要援護など）の認識・把握まで至っていなかったようだ。
- ・重要な報告に関しては、報告用紙（フォーマット）の工夫や情報（文言）にマーカーを入れるなど、発信する側・受ける側の相互確認が必要である。
- ・今後は、全体情報から緊急援護対応（火災発生、瀕死の重傷者対応、エレベーター閉じ込め、ジャッキ・重機必要など）の優先付けを決める仕組み作りが必要だと痛感した。
- ・情報シートの流れが明確でなかったため、1枚のシートが何度も届くという状況があった。（訓練中にルールを決めて是正した。）
- ・情報シートに記載してある項目と同じカテゴリでホワイトボードが分類されていなかったため、シートを受け取ってから板書するのに時間がかかった。（訓練中に調整した。）
- ・ホワイトボードに記載しなければならない内容が決まっているので、記入フォームを作成しておけば、文字の大きさ等を気にする必要がなくなる。
- ・情報シートが届いた段階で誰か1人が全体に聞こえるように「情報が届いた」旨を伝えると各役割の方々が次の行動を予想しながら動くことができると思う。
- ・ホワイトボードへの情報の書き出しについては、当初、予定を変更して実施したが、変更して正解でした。

#### (5) 情報提供担当

- ・被害の連絡の行った所定の用紙で出してくれと言われたが、シナリオどおりでない。臨機応変な対応ができていない。
- ・第1報（14:30）、第2報（15:00）の切り替えがなかった。

- ・情報更新の方法、検討の必要あり。
- ・情報整理担当が整理する「新宿駅周辺地図」を情報提供掲示板に張ることを検討する必要あり。
- ・情報提供者を担当しましたが、どのような情報が必要とするかなど、予め、決めておく必要があると感じる。
- ・当日は訓練に参加した人の判断で情報を提供していましたが、一定の基準があると提供すべき情報があるか否か、判断がスムーズになると思います。
- ・情報提供者にも、もっとわかり易い情報の流れになればと思う。
- ・情報連絡者として、ダミー情報を持っていった後、受付後に何人かの本部員にたらい回しにされた。
- ・持ちよった情報が正確にホワイトボードに転記されていなかった。

## (6) その他

- ・区が主体となって関係行政機関も一体となった行動が必要だと思う。
- ・3回目としては、お粗末であると思う。
- ・実行性がなく、区がリーダーシップをとらないと、うまくいかない。
- ・本番になれば、騒々しくなっていると思われることから「声を大きく」出した方がいい。
- ・停電していることから、発動発電機を準備した方がいい。
- ・非常灯の明るさがあまり無く、文字がみえづかった。電池式のランタン等があれば解消されると思う。
- ・やっている人がバラバラの訓練で、本番はどうするのか？
- ・情報が膨大で混乱している。事前情報と関連性がない。
- ・重症患者の報告をしても、本部で救護してくれるのか？
- ・各ポジションが一緒になっていることから、バラバラで遊び感覚のように見えた。要検討が必要であると思う。
- ・資料が膨大であり内容が分からない。
- ・いろいろな情報があって、どれが重要なのか分からない。
- ・時系列がはっきりしないことから、その内容が置き去りになっている。また、情報の追跡がない。
- ・第1ビルは9月に行っている。全国とやり取りして内容はしっかりしている。
- ・情報がまとまっていないと、役に立たない。また、判断が難しい。
- ・25階から人が人を搬送する際、ダンボールを担架として使用していた！今は、軽くて簡単に扱い易い担架がある。
- ・一企業であれば指揮は大丈夫である。エリアとして考えるとなかなかである。分析を出求め、指令をだすことは難しい。ビル側で判断するしかない。また、専門家でないのが難しい。
- ・今回の訓練が実際の事態であると思う？
- ・起震イスは有効であった。
- ・発災前から準備していましたが、人員の不足はありませんでしたが、現実的には、非常に厳しいのではないかと思います。

- ・寄せられる情報の時間が予め、分かっていることから他の担当についても、全体をイメージするためにも見学すれば良かったと思っています。
- ・各人が自分の役割以外の事をよく把握できていなかったように思います。
- ・高層階の訓練では各階から本部に報告する情報の流れはあったが、その逆がなかった。
- ・避難ルートなどは状況により替わるため、それらを本部から各階に向けて、発信しても良いと思いました。
- ・東京医大などの病院の受け入れ情報（人数）が区の災害対策本部から入り、医療救護活動の動きが分かった。
- ・情報伝達で、現地本部と区の災害対策本部との間で、被災情報の細やかなやり取りができればよかった。

例：要援護者 10 名います⇒支援が必要な人は何人いますか⇒2 人です

⇒後方医療施設は確保できません⇒すぐ手当をしないと危ないです

⇒〇〇ビルの診療所に連絡したので、そこに搬送してください など

- ・仮設トイレの説明に人があまり集まらなかったのが、起震車と同じ場所にするとよかったのでは？
- ・一般の方々や帰宅困難者、各ビル管理者で言えば、テナントのお客様に対する対応について、さらに訓練の必要性を感じた。
- ・緊迫感が足りなかった。
- ・訓練の事前練習が不十分のようでしたし、実践に則したシナリオを作るべきであった。
- ・状況把握及び本部への報告は各階の責任者からさせるべき。
- ・訓練計画は非常にきめ細かく策定されていたが、訓練参加者が十分に理解できず、計画通り進行できなかったのではないか。
- ・訓練参加者に訓練内容を理解させるのは、事前に十分周知させておく必要があるのではないか？
- ・組織立った訓練ができていなかったように思われる。
- ・新宿住友ビルの場合

※各テナントで訓練開始前、15 分位、防火管理者を中心として、消防計画に定められている任務・行動を再確認させ、消火器等の操作要領を全員に周知させるなどした後、ビル全体の訓練を開始している。